

会 議 録

会議の名称	第5回吉川美南駅前公共施設整備検討委員会	
開催日時	令和4年1月25日(火)	午後3時00分から 午後4時05分まで
開催場所	吉川市民交流センターおあしす ミーティングルーム4	
出席委員(者)氏名	藏田幸三、高田明充、小松弥生、石井亮英、楊西希、金田桂子、高木淳	
欠席委員(者)氏名	野尻一敏	
担当課職員職氏名	政策室長 浅水明彦 政策室副室長兼政策室主幹 岡崎久詩 政策室調整官 野尻宗一 政策室企画担当副主幹 油川誠 政策室企画担当副主幹 相川美佐子 政策室企画担当主任 平塚雅史 教育委員会事務局教育部生涯学習課長 岩上勉	
会議次第と会議の公開又は非公開の別	[次第] 1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 基本計画(案)について 4 その他 5 閉会 [公開・非公開の別] 公開	
非公開の理由 (会議を非公開にした場合)		
傍聴者の数	1名	
会議資料の名称	資料1 吉川美南駅前公共施設整備基本構想・基本計画(案)	
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 録音機器を使用した全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 録音機器を使用した要点記録 <input type="checkbox"/> 要点記録	
会議録確認指定者	楊西希委員、金田桂子委員	
その他の必要事項		

審議内容(発言者、発言内容、審議経過、決定事項等)	
	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>(藏田委員長よりあいさつ)</p> <p>3 議事</p>
委員長	
委員長	議事録署名人を名簿順で楊委員と金田委員にお願いする。
委員	(異議なし)
	(1) 基本計画(案)について
事務局	(資料1に基づき説明)
委員	土地区画整理事業の進捗との調整について、すでに組織があるのか。また今後の予定はどのようなものか。
事務局	北側の事業者選定については、担当課によって別に選定委員会を設け、事業者公募を行い、選定を行う流れである。令和2年の8月に一度公募を行ったが、応募がなかったため、委員会は開催しなかった。
委員	民間の事業のため、ある時期までに確定させることは難しい場合があるため、広報等での状況の進捗の説明があってもいいと思う。
委員	今回の基本計画は、民間との分担をどうするか、市の財政負担を減らせるかという内容であるが、市民にとってはどのぐらい魅力のある施設ができるのかが重要である。アフターコロナ、DXの進展などを踏まえ、今後の社会を見越したわくわく感のあるものとしていただきたい。例えばホール機能について、「特色ある」としているが「最先端」など、新しい未来が拓けるような表現を検討いただきたい。今後の基本設計・実施設計においても、IT等の技術の進展も踏まえながら、どのような施設、設備が実際に必要かを見据えた設計が必要である。IT関係に強い事業者を入れる、市民との対話や普及事業などによって詰めていくといったことを書いても良いのではと考える。そのような機能をイメージすると、建設費も他の自治体の類似事例では足りないと思うが、市民がわくわくする、自分たちも一緒に作っていくという気持ちが持てるものになると良いと思う。
事務局	運営などについても議論・検討が足りていないと感じている。要求水準書の作成段階等で、様々なところから意見をいただきながら検討したい。表記については、ご意見を踏まえて現時点で可能な表現を再度検討する。
委員	市民目線でこれまで意見してきた。様々な事情があるのも理解する。ただし、今回の施設は中央公民館(おあしす)と何が違うのか。行ってみたい、見てみたい、使ってみたいと思える、わくわくするような別施設との差別化をお願いしたい。
事務局	今回の方向性をベースに民間事業者からの提案を受ける。これがスタートであり、選定の際にもご意見のようなことを踏まえた検討をしたい。

副委員長	委員会のスケジュールについて、今回で終了するのか。デジタル化等、本日の委員会で意見のあった中身についての検討は今後どのように行われるのか。パブリックビューイングなど、具体的なところを検討して欲しい。
事務局	今回いただいたご意見を踏まえて変更を行い、2/10 からパブリックコメントを予定している。その結果を踏まえ、委員会でみなさまに再度ご意見をいただいた上で計画策定としたい。デジタル化の具体的な中身の検討はその後となる。状況に応じて、改めてお声をかけさせていただきたい。
委員	約 4.4ha の北側の事業との歩調を合わせることが重要。同じようなタイミングで選定できるのであれば、選定組織等は異なっても歩調を合わせてほしい。状況によっては、先に選定した事業に合わせて、もう一方の計画を修正できる余地も残しておく必要がある。例えば、北側の事業でホールをつくる可能性もある。今後の修正の可能性についても触れたほうがよいのではないか。
事務局	それぞれの事業について、民間事業者からも様々なご意見をいただいている。北側の事業もご意見を踏まえて検討中である。地権者との関係があり、基本的には 4.4ha の北側の事業が先行する想定である。文化関連施設の競合等についてはないとは言えないため、事業者公募までの間に、状況に応じて対応を検討したい。
委員	パブリックコメントはよいが、会議に参加していない市民は、募集していることを知らない。情報の拡散、周知の方法について、工夫を検討して欲しい。
事務局	前は吉川美南駅にビラを置いたが、少なかったという状況がある。基本的には、広報誌でお知らせしている。美南地区の公民館にもパブリックコメントの意見を入れられる箱を設置する。周知の方法は各公共施設での周知に加え、公式ツイッターを利用するなど、検討したい。
委員	インターネットでのキーワード検索なども検討してはいかがか。
事務局	キーワード検索については、確認する。
委員	公式ツイッターの存在を知らなかった。
事務局	広報紙等で紹介しており、登録者数は 1000 人弱である。
委員	広報誌を見ている人自体が少ない。ツイッターがあることを知らない人が多いのではないかと。より積極的に広報して欲しい。
事務局	建物の配置について、広場とは何かよくわからない。事業予定地の先に近隣公園がある。公園と広場との関係はどうなっているのか。
委員	広場については、分棟の場合に公共施設と民間施設が連携・融合を図るスペースを想定している。公共と民間をつなぐようなオープンスペースである。
委員長	今回の意見を踏まえ、今後はどのようなスケジュールとなるか。

事務局	いただいたご意見を踏まえて修正後、2/10 からパブリックコメントを実施する。その結果を踏まえ、3月下旬に次回の委員会をお願いしたい。
事務局	4 その他 次回の委員会はパブリックコメント後の3月下旬を予定している。
副委員長	5 閉会 (高田副委員長よりご挨拶)
以上、会議の内容に相違ないことを証するため、ここに署名する。 令和4年2月18日 署名委員 楊 西希 (自署) 署名委員 金田 桂子 (自署)	